

第6学年 社会科学学習指導案

1 単元名 『徳川の世』は、どんな世の中だったの』（日本文教出版上）

2 単元について

- 本単元は、学習指導要領の内容(1)オ「キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一、江戸幕府の始まり、参勤交代、鎖国について調べ、戦国の世が統一され、身分制度が確立し武士による政治が安定したことが分かること」を受けて設定したものである。ここでは、上記内容を理解するとともに、我が国の歴史や先人の働きについて理解と関心を深めさせることをねらいとしている。

徳川家康が江戸幕府を開き、その後、徳川氏による約260年にわたる安定した政治が行われた。そこには、徳川家康や徳川家光の2人の将軍による様々な政策の成果が見られる。そこで、参勤交代や武家諸法度による大名の統制や身分制度の確立による農民や町人の統制、キリスト教の禁止や鎖国による貿易の統制などについて調べさせ、江戸幕府が長く続いた理由について多面的に捉えさせたい。また、「家康が幕藩体制の基礎を築き、家光が確立させた。」と、両者の功績を比較されることも多い。そこで、本単元では、江戸時代が平和で安定した世の中になったことへの両者の貢献度を考えさせ、どちらの貢献度が高かったかを意思決定させ、それを基に討論させることで思考力・判断力を高めていきたい。また、討論会を基に自分の考えを深めさせ、論述させることで表現力を養っていきたい。このように、江戸幕府が長く続いた事実を基にその理由を探ることで幕府の政策やその工夫について気付き、また、それを基に家康と家光の功績を比較する討論や論述を行う学習は、児童の思考力・判断力・表現力を育成するのに適したものと考えられる。

- 本学級の児童は、歴史学習を好み、意欲的に取り組んでいる。また、授業前の予習にも取り組んでいる。予習では、日常的に使う言葉の意味調べ、歴史的な事象を表す言葉の意味調べを中心に行っている。その中で、多くの児童が、課題に沿ったまとめを自分なりにできていると感じている。

1学期は、聖徳太子や聖武天皇、源頼朝など政治の中心人物が、自分の理想や願いを実現させるために様々な政策や事業を行っていたことを学習している。しかし、歴史上の人物と、彼らが行った政策や事業が一致しない児童も多い。「戦国の世は、どう統一されたの」の学習では、『信長・秀吉・家康』の3人の武将の中で最も優れていたのは誰か。という論題で討論会を行った。その際、ほとんどの児童が自分なりの理由付けを行って意思決定をすることができていたが、討論に積極的に参加できる児童は少数であった。発言においては、ほとんどの児童が事実の発表だけで終わり、事実と理由付けの関連が不明瞭であったため、相手を納得させるような話合いの技能が身につけているとは言えない。また、全体的に、討論する目的が「相手に勝つ。」という捉え方をしている児童が多く、討論を基に考えを深めていくという意識をもたせるために討論の仕方の指導も併せて必要である。

- 指導にあたっては、まず、徳川家光が大名に言った言葉を基に、徳川家康から続く将軍の力がとても大きなものであったことを捉えさせたい。これにより「家康や家光はどんな政治を行ったのだろう」という疑問をもたせ、学習問題Ⅰとして設定する。その後、家康や家光の行った政治のポイントとして、「大名をおさえる」、「外国(キリスト教)との関係」、「お金をたくわえる」という3つを挙げ、調べる観点とさせる。

次に、3つの観点を基に、家康や家光が行った「大名統制」や「身分制度の確立」、「キリスト教の禁止や鎖国」などについて調べさせる。この際、家康は赤、家光は青色のペンで色を付けさせ、その政策を誰が行ったのか視覚的にも分かりやすいようにして、まとめさせたい。なお、教科書では大名配置の工夫などが誰によって行われたものかの記述がないので、適宜、教師で説明を行う。

そして、学習問題1のまとめを基に、争いがなく平和な江戸時代が約260年間も続いたことに、家

康と家光が貢献していたことを捉えさせる。また、その260年間という時間が中世以降では比較的長い時間であったことも理解させ、2人の功績を捉えさせたい。さらに、「江戸時代が平和で260年間も続いたのは、家康と家光のどちらの功績が大きいだろうか」と投げ掛ける。児童の意見は両者に分かれることや同じ意見でも根拠が違うことが考えられ、児童にはその課題を何とかして解決したいという欲求が生まれると考える。そこで、論題「江戸時代が平和で安定した世の中となり、260年間も続いたことに、より貢献したのは家康と家光のどちらだろう」(学習問題Ⅱ)をつくらせる。討論会に向けての準備では、ワークシートを工夫し、3つの観点を基に両者の功績を点数化させる。

実際の討論会では、討論する目的を「自分の考えをより深めるため」と伝え、友達の見解も受け止めさせながら、話し合いを進めさせたい。そして、討論会後には、自分の考えを論述させることで、学習のまとめとする。

3 単元の目標

江戸時代の社会に関心を持ち、身分制度の確立や大名の統制、キリスト教の禁止や貿易統制等について、年表や資料を活用して調べ、武士による安定した政治が行われたことを捉えさせる。

4 評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度【関】	社会的な 思考・判断・表現【思】	資料活用の 技能【技】	社会的事象についての 知識・理解【知】
○江戸幕府の武士による政治が安定し、長く続いたことに関心を持ち、徳川家康と徳川家光の行った政策などについて、意欲的に調べたり、考えたりしようとしている。	○江戸幕府の武士による政治が安定し、長く続いたことから学習問題を見だし、見通しをもって追究し、徳川家康と徳川家光の行った政策の相違点について思考・判断したことを適切な言葉で表現している。	○江戸幕府が行った大名統制や身分制度、貿易の取り締まりなどについて、資料などを活用して、必要な情報を集めて読み取ったりまとめたりしている。	○江戸幕府が大名統制を行うとともに身分制度を確立し、貿易統制を行うことなどで武士による政治が安定したことを理解している。

5 単元計画 (全6時間 本時5/6)

過程	主な学習活動(○)	教師の働き掛け(○)	【主な評価】(・)	時配
学習問題をつかむ	○教科書の絵や文章から、徳川家光が大名に対して大きな力をもっていたことをつかむ。	○伊達政宗が「將軍様ではなく、私が踏み潰して御覽入れましょう。」と言ったエピソードを伝え、將軍の力の強さに気付かせる。	・徳川家光や家康の行った政治に興味や関心を持ち、学習のめあてをつかんでいる。 【関】	1
	○家光が生まれながらに強い力をもち得たのは、家康の力が大きかったことを知り、学習問題をつくる。	○デジタル教材を視聴させ、家康と家光の関係を捉えさせる。 ○2人が様々な政策を行い、世の中を安定させていったことを捉えさせる。		
	家康や家光はどんな政治を行ったのだろうか。 《学習問題Ⅰ》			
	○調べる観点をつかみ、学習の見	○「大名の力をおさえる」		

	通しをもつ。	「外国(キリスト教)との関係」,「お金をたくわえる」の3つの観点を中心に調べることを伝える。		
調 べ る	○江戸幕府が、武家諸法度や参勤交代などの政策を通して大名を治める仕組みについて調べる。	○幕府が政策を通して大名に大きな力をもたせないようにしたことを捉えさせる。 ○武家諸法度が代々の将軍によって改訂されていることを知らせ、家康や秀忠と家光の内容の違いについて気付かせる。 ○家康と家光の政策を色分けさせ、どちらの政策か分かりやすいようにする。	・江戸幕府が行った大名統制について、資料などを活用して、必要な情報を集めて読み取っている。 【技】 ・江戸幕府がどのようにして大名を治めていたかが分かっている。 【知】	1
	○江戸幕府が、武士を中心とする身分制度を確立させ、農民を支配する仕組みについて調べる。	○農民の負担やおふれ書きの内容を通して、江戸幕府の身分による支配を捉えさせる。	・江戸幕府が行った身分制度について、資料などを活用して調べている。 【技】 ・江戸幕府が身分制度を確立し政治を安定させたことが分かっている。 【知】	1
	○江戸幕府が、キリスト教を禁止したり、貿易を制限したりして、自らの支配を強めようとする仕組みについて調べる。	○キリスト教の取り締まりや出島での貿易などを通して、家康と家光の政策の違いに気付かせる。	・江戸幕府がキリスト教を禁止し、出島で貿易を行ったことが分かっている。【知】	1
考 え ・ ま と め る	○学習問題のまとめをする。 ○江戸幕府が長年続いたことにより大きく貢献した将軍は、家康か家光かを考える。 ○討論会の論題を決める。	○徳川家康や家光による大名統制や貿易統制、経済政策を通して、武士による政治が安定したことをまとめさせる。 ○平和で安定した時代を築いたのは、どちらの貢献度が高いか考えさせる。		1 本時 (5/6)
	論題 江戸時代が平和で安定した世の中となり、260年間も続いたことにより大きく貢献(活躍)したのは家康と家光のどちらだろう。 《学習問題Ⅱ》			
	○討論会に向けて自分の考えをまとめ、意思決定1を行う。	○これまで学習した内容を振り返らせ、それぞれの政策がどれだけ有効だったのかを考えさせる。 ○家庭学習等も利用させて自	・江戸時代が平和で長く続いたことにより貢献したのは家康か家光か、自分の考えをもつことができる。	

<p>○討論会を行い、自分の考えを深め、意思決定2を行う。</p>	<p>分の考えをまとめさせる。 ○支持する武将やその理由(政策とその効果)を観点ごとに話し合わせる。</p>	<p>【思】 ・江戸時代が平和で長く続いた理由を明らかにして、自分の考えを論述できる。</p>	
<p>○自分の考えを論述する。</p>	<p>○ワークシートを基に、自分の考えを論述させる。 ○プリントは背面黒板に掲示し、みんなで見合うことを伝え、相手意識をもたせる。</p>	<p>【思】</p>	<p>1</p>

6 本時の目標

《学習問題I》のまとめを基に3つの観点で家康と家光を比較し、江戸時代が長く続いたことに、より大きく貢献したのはどちらかについて、討論会に向けた自分の考えをまとめ表現することができる。

7 展開(全6時間 本時5/6)

学 習 活 動	教師の働き掛け(○)と評価【】
<p>1 学習のめあてを確認する。</p>	<p>○家康や家光による大名統制や貿易統制、経済政策を通して、武士による政治が安定したことを振り返らせる。</p>
<p>めあて 家康や家光はどんな政治を行ったのかまとめよう。</p>	
<p>2 《学習問題I》「家康や家光はどんな政治を行ったのだろう。」のまとめをする。</p>	<p>○家康と家光の政策を黒板にまとめ、視覚的に分かりやすいようにする。 ○政策をカードにして、黒板に貼らせることで、児童が発表する意欲付けとする。</p>
<p>3 江戸時代が、中世で長く続いた時代であることを知る。</p> <div data-bbox="165 1335 695 1532" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>社会的な問題(答えさせるための問い) ・他の時代と比べ、江戸時代は家康と家光の貢献により260年間という長い間続いたこと</p> </div>	<p>○年表のテープ図を使い、江戸時代が長く平和で安定した世の中だったことを捉えさせる。また、このことを家康、家光それぞれが行った政治と関連させ、家康はこの時代の「きっかけ」をつくったのに対して、家光はこの時代を長く続ける「仕組み」をつくったことを押さえ、意見の対立が出やすくする。</p>
<p>4 江戸幕府が長年続いたことにより貢献した将軍は、家康か家光かを考え、友だちとの意見の違いに気付き、討論会の論題をつくる。</p>	<p>○教科書の色分け(家康が行った政策は赤マーカー、家光は青マーカー)や板書を基に、比較させ、自分の考えをもたせる。 ○それぞれの政策について、「江戸時代が長く続くことにどれだけ有効だったか」を視点に考えるよう支援し、これまで学習した内容を振り返らせる。 ○数人に発表させる。この際、支持する人物とその根拠を述べさせることで、それぞれを支持する考えがあること、同じ考えでも根拠が違うことなどから、違う考えの友達がいることを認識させ、討論する必要性を感じさせる。</p>

<p>論題 江戸時代が平和で安定した世の中となり、260年間も続いたことにより大きく貢献(活躍)したのは家康と家光のどちらだろう。 《学習問題Ⅱ》</p>	
<p>5 討論会の準備をする。</p> <p>① 討論会の意義について知る。</p> <p>② 討論の観点を確認し、自分の考えを深めるためのツール(ワークシート)の使い方について知る。</p> <p>③ 討論会に向けて自分の考えをまとめる。</p>	<p>○討論会を通して自分の考えを深め、討論会後に自分の考えを論述することを知らせ、討論会で学ぶ目的について共通理解を図る。</p> <p>○意思決定の観点は、「大名の力をおさえる」「外国(キリスト教)との関係」「お金をたくわえる」の3観点とする。</p> <p>○それぞれを10点満点の割合で評価させるツールを使い、合計点数でどちらかを決定させる。</p> <p>○ワークシートを使って考えをまとめさせる。</p> <p>○必要に応じて教科書や資料集等で、追加調べを行わせる。【評価】</p>
<p>6 本時のまとめと次時の見通しをもつ。</p>	<p>○自分の考えをまとめられたことを称賛し、次時の討論会を行い、考えを深めることへの意欲を喚起させる。</p>

8 本時の評価

単元の評価規準	江戸幕府の武士による政治が安定し、長く続いたことから学習問題を見だし、見通しをもって追究し、徳川家康と徳川家光の行った政策の相違点について考え、判断したことを適切な言葉で表現している。(社会的な思考・判断・表現)		
本時の評価規準	《学習問題Ⅰ》のまとめを基に3つの観点で家康と家光を比較し、江戸時代が長く続いたことに、より大きく貢献したのはどちらかについて、討論会に向けた自分の考えをまとめ表現している。(社会的な思考・判断・表現)		
判定基準(判断のめやす)	「十分満足できる」状況(A)	「おおむね満足できる」状況(B)	「努力を要する」状況(C)
	3つの観点において、ツールを使って比較し、具体的な資料や根拠により、自分の考えをまとめている。	3つの観点において、ツールを使って比較し、自分の考えをまとめている。	(B)に達していない児童
→(B), (C)と判断した児童への支援策		→点数化した理由を具体的な政策名などで挙げさせる。	→家康と家光の政策の違いを振り返らせ、観点におけるその有効性を考えさせる。
評価方法	ワークシートの記述		